

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人 華苑学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
3年課程看護専門課程	看護学科	夜・通信	724 単位時間	240 単位時間	
		夜・通信			
助産師過程（全日制）看護専門課程	助産学科	夜・通信	285 単位時間	80 単位時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人華苑学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/	「令和1年度情報提供等への取組に関するガイドラインに基づく情報提供」へ
---	-------------------------------------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医療法人金澤会理事長	平成30年6月1日～令和4年5月31日	運営全般へのチェック機能
非常勤	医療法人清和会理事長	平成30年6月1日～令和4年5月31日	運営全般へのチェック機能
(備考) 学識経験者のうちから選任			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人 華苑学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教務会議により、明確に定めた学習目的、学習目標にそって、学習内容・方法など、十分な検討を加えて授業計画書を作成する。評価方法は学生にわかりやすく、詳しく表記している。</p> <p>外部講師の担当科目については、明確に定めた学習目的・目標など説明し、学習内容など意見を聞きとりまとめ作成する。</p> <p>前年度の 3 月に完成し、4 月の新学期とともに全学生へ配布している。ホームページにも公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>評価方法は、履修の手引き(シラバス)の各科目の評価方法(筆記試験、レポート、グループワークなど)に記載されている方法に基づき厳格かつ適正に評価している。</p> <p>学科試験受験資格は学習評価・単位・卒業・修了認定基準第 4 条に基づき当該科目について規定時間数の 3 分の 2 以上出席した者とする。</p> <p>成績評価の基準は、学習成果に基づき 100 点満点で点数化し、80 点以上を優、70～79 点を良、60～69 点を可、60 点未満を不可とし、60 点以上に履修を認定し、単位を授与している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生の学習成績は学則第4章11条規定に従い、学年ごとに開講される科目の学科試験の合計点数を、学年ごとに開講される科目の数で除算したものをもとに算出し、学年ごとに順位付けしている。</p> $\text{平均点} = \frac{\text{学年ごとに開講される学科試験の合格点数}}{\text{学年ごとに開講される学科試験の科目数}}$ <p>*平均点の算出には、本試験の点数および60点以下の場合再試験を実施し、その点数を用いる。また、学生の成績分布についても、上記方法により算出した数値により適切に把握している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生に対して看護師として必要な知識及び技術を教授し、社会に貢献し得る有能な人材を育成することを目的とする。そのために学則第5条に定める修業年限在学し、看護学科97単位、助産学科29単位の成績を修めることを卒業要件とする。詳細については学則11条、12条、13条のほか、学則施行細則8条、9条に規定しており、学生の卒業認定についてもこれらの規定に従い適切に実施している。ディプロマ・ポリシーについてはホームページに公開している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://kumamotokango.ac.jp/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人 華苑学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
財産目録	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
事業報告書	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		3年課程 看護専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,090 単位時間	1,260 単位時間	825 単位時間	1,035 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,120 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		239人	人	12人	40人	52人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）看護学科のカリキュラムは、人間の生命を尊重し、自ら考え行動できる豊かな人間性を備える教育内容を基盤とし、状況判断や医療安全を考えたシミュレーション教育を専門分野・統合分野に取り入れ、看護実践能力の向上を図っている。また、保健医療福祉が連携して総括的、組織的に取り組み、人々の健康状態がより高いレベルになるように、科学的根拠に基づいた看護実践ができるようなカリキュラムを構成している。</p> <p>（作成過程）教務会議により、明確に定めた学習目的、学習目標にそって学習内容・方法等、十分検討を加えて授業計画を作成している。評価方法は学生にわかりやすく、詳しく表記している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）学科試験の成績は100点満点法により80点以上を優、79～70点を良、69～60点を可および60点未満を不可とし60点以上を合格とする。学科試験を受けることのできるものは、当該科目について規定時間の3分の2以上出席した者。臨地実習の評価は実習指導者と学校の総合評価に基づいて判定し、60点以上を合格とする。</p>

卒業・進級の認定基準
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 卒業認定基準は基礎分野 13 単位、専門分野 21 単位、基礎分野 I 13 単位、専門分野 II 38 単位、統合分野 12 単位の合計 97 単位取得した者。 進級基準は 1 年生 36 単位、2 年生 42 単位、3 年生 19 単位で必要な単位を取得した者。
学修支援等
(概要) クラス担任二人体制で学校生活のサポートを行う。 実習施設と連携を密に行い、実習環境を整えている。 臨床実践者の授業をとりいれ、最新の技術・知識を学ぶ。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
60 人 (100%)	4 人 (6.7%)	56 人 (93.3%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 県内実習病院 20 人、実習病院以外 23 人、県外医療施設 13 人			
(就職指導内容) 就職資料コーナーを設け情報提供、個別相談、就職ガイダンスの実施			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
236 人	17 人	7.2%
(中途退学の主な理由) 学業成績不振による継続困難		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任 (2 人) による個々の学生へ、学業から生活までサポート 学校カウンセラーによるカウンセリング		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		助産師課程 (全日制)看護専門課程	助産学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	945 単位時間	450 単位時間		495 単位時間		
			945 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15人		13人	人	3人	20人	23人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) 知識・技術の習得だけでなく知識を用いて判断力や応用力を高め、地域に貢献できる助産師を育てたく、カリキュラムを編成している。</p> <p>(作成過程) 教務会議により、明確に定めた学習目的、学習目標にそって学習内容・方法等、十分検討を加えて授業計画を作成している。専任教員の授業科目については、各自助産師の現場で実践経験を十分経験した者が担当する。評価方法は学生にわかりやすく、詳しく表記している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 学科試験の成績は100点満点法により80点以上を優、79～70点を良、69～60点を可および60点未満を不可とし60点以上を合格とする。学科試験を受けることのできるものは、当該科目について規定時間の3分の2以上出席した者。臨地実習の評価は実習指導者と学校の総合評価に基づいて判定し、60点以上を合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>基礎助産学6単位、助産診断・技術学8単位、地域母子保健1単位、助産管理2単位 研究1単位、臨地実習11単位の合計29単位取得した者</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>実習施設と連携を密に行い、実習環境を整えている。 臨床実践者の授業をとりいれ、最新の技術・知識を学ぶ。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数	その他
		(自営業を含む。)	
14人 (100%)	人 (%)	14人 (100%)	人 (%)

(主な就職、業界等) 県内実習病院 2 人・実習病院以外 3 人、県外医療施設 9 人
(就職指導内容) 就職資料コーナーを設け情報提供、個別相談、就職ガイダンスの実施
(主な学修成果 (資格・検定等)) 助産師国家試験受験資格、受胎調節実施指導員の申請資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による学生へ、学業から生活までサポート 学校カウンセラーによるカウンセリング		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	200,000 円	540,000 円	250,000 円	施設整備費 200,000 円、実習費 50,000 円
助産学科	200,000 円	840,000 円	400,000 円	施設整備費 200,000 円、実習費 200,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kumamotokango.ac.jp/disuclosure/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 本校の学校関係者評価委員会規定に基づき卒業生、保護者、地域住民、教育に関わる実習施設の関係者、そのた教育に関する有識者から構成される委員会を組織し、より実践的な職業教育の質を確保するため、教職員が実施した自己評価項目(教育目標、教育課程経営、入学、卒業など)について、教育活動の観察や意見交換を通じて評価を実施してもらう。 教職員は学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営などの質の保証と向上に継続的に努めていく。 評価結果は理事会などで報告し、公表することとしている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
熊本大学名誉教授	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	大学・高校等の教職員
熊本赤十字病院看護副部長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	企業委員
町内会役員	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	地域住民
済生会熊本病院看護師	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kumamotokango.ac.jp/disclouser/		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kumamotokango.ac.jp
--